

# 教護会だより

第103号

発行日 令和4年10月11日(火)  
発行者 山形県立米沢工業高等学校  
全日制教護会  
TEL (0238) 28-7050(代表)  
URL <http://www.yonezawa-th.ed.jp>  
編集 全日制教護会広報委員会  
印刷 株式会社 カワサキ印刷

## 3年ぶりの上杉行列 米工軍団 整然と参加



山形県立米沢工業高等学校では、「PTA(保護者と教職員の会)」のことを「教護会」と呼んでいます。  
保護者と教職員の連携のもとに、本校教育の推進と生徒の健全な育成を目指して活動を行っています。



入学式



校内研修1日目



対面式



部活動紹介



新入生校内研修

## 1学年主任 & 担任から



1学年主任  
電気情報類

さとう ただひろ  
**佐藤 忠博**  
先生

いろいろなことが手元で解決する世の中ですが、手間のかかる事を面倒くさからずにやれる人になってください。3年間での成長を期待します。



1組担任  
機械生産類

さいとう よういちろう  
**齋藤 暢一朗**  
先生

貴重な高校生活。どんなことに時間を費やすかで将来は変わってくると思っています。平等に与えられた時間を大切に。



2組担任  
機械生産類

おの さとし  
**小野 智史**  
先生

高校生活での様々な経験が今後の成長の糧になります。いろいろなことに積極的にチャレンジしてみてください。



3組担任  
保健体育

まさかね こうた  
**政金 康太**  
先生

高校を卒業する時、「自分は〇〇ができる」「高校で〇〇をやってきた」と胸を張って、堂々と言えるように、高校生活を充実させよう！



4組担任  
理科

かの あきかず  
**狩野 章和**  
先生

大人になり人生を振り返ったとき、「あの時こうしていれば…」と思ってしまうのはきっと今の高校時代。3年間全力疾走しましょう！



5組担任  
建設環境類

たかなし さなえ  
**高梨 早苗**  
先生

3年間=25950時間。時間は平等。その時間をどう使うかで変わる。今から終わりを思い描き、今必要なことを実行しよう！

# 5月 May



地区総体壮行式



春季地区予選



地区総体（卓球）



地区総体（登山）



県総体（サッカー）



前期生徒総会



芸術鑑賞



県総体（レスリング）

# 7月 July



インターハイ・甲子園予選等の壮行式



甲子園予選（1回戦）



甲子園予選（2回戦）



甲子園予選（3回戦）



C類先輩と語る会



中学校との懇談会



電気工業組合交流会



ネットトラブル防止講話

# 6月 June



ものコン化学分析



ものコン測量



ものコン電気工事



県総体 (卓球)



インターンシップ



3年進路ガイダンス



C 類 3 年石巻ボランティア



E 類 3 年事業所見学

# 8月 August



小型建設車両講習



メカトロ製作



ソフトテニス夏季研修会



四国インターハイ (飛込競技)



東北総体 (レスリング)



技能検定試験練習



オンラインでの始業式



3 年面接練習



## 教護会からのご挨拶

教護会会長  
皆川 正春

教護会会員の皆様におかれましては、日頃より教護会活動に対し格別なご理解とご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。本会の役割は、学校目標である「健康で心豊かな、想像力とたくましい実践力のある工業技術者」を育成する為に、学校と家庭そして地域の大きな輪で子供達を見守り育てる事にあります。今年は創立125周年という節目の年でもあります。125年という歴史と伝統のある米沢工業高等学校とそれに付随して教護会も先人の方々が子供達の教育を護り育てるという思いを引き継ぎ、その時代にあった教護会活動を行ってこられたと思います。今の世の中、目まぐるしく変化し今までの常識や考えではついていけない状況の中で先を見据えて行動できるように、私達親も今の子供達に出来る事を実践していかなければならないと思います。その役割を担うように教護会も取り組んでいきたいと思っています。

さて、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生徒、教職員の皆様も感染防止対策を強いられて、学校活動が思うように出来ない状況が続いていると思います。

家庭でも大変な苦勞をされていると考えます。しかし、こうした状況下でも子供達の成長や時間は進んでおり前に向かっていかなければなりません。対面とオンラインのハイブリットが当たり前の日常になりつつありますが、オンラインでは感じ取ることでできない空気感や表情言葉の掛け合いなど、学校生活の中で沢山感じ取れる機会があるわけです。

まだまだ、元のような学校生活はできないですが、まさかの事態が続く今だからこそ、子供達の笑顔を守るためにも教護会としてもできる限りの支援をしていきたいと思っています。

最後になりますが、教護会の活動に対し、これまで同様皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



## 先行きが見えない社会で、家庭と学校の関係を見通しの良いものへ

校長  
佐藤 有二

教護会の皆様には、日頃より本校教育活動に対し格別のご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。

さて、本校は今年度、明治30年の創立から125周年を迎えました。世の中に如何なる事態が起きようとも、毎年一年ずつ時を重ね歴史を刻んでまいりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で、世界中が恐怖や不安を感じ、成就感が得られない世の中で希望を見失いそうになりました。このような状況を誰かが予想できたでしょうか？

今後、身の回りではガソリンエンジンの車が電気自動車へ、そして空を飛ぶ時代に変わります。人の手で行っていた作業を機械が代替し、希望する人が自由に宇宙へ往來する時代になるでしょう。今の若者が生きる将来は、コロナ禍と同様に変化が激しく予想が難しい世の中になっていきます。

そのように、先が見通せない社会を生き抜くためには、本校で学んでいる知識や技術を基にして、難しい局面を突破するための「深く考え抜く力」を育成する必要があります。学校でも探究活動を通して、専門の知識・技術の活かし方や、社会の課題を解決する力の育成に取り組んでいます。しかし、学校での時間は限られており、そこで学べるものは、社会に出てから必要なことの全てではありません。

生徒達が生きる全ての時間、あらゆる場面において、「考え抜く」経験と習慣を積み重ねるために、学校だけに留まらず家庭での「考えさせる」機会が重要になります。また、成年年齢が引き下げられ若者の社会参画が期待される中では、なおさら学校と家庭が一体となり社会人としての判断力・行動力を育むことが求められます。

このために、本校教護会はこれまでも増して強固に結束し、将来を生き抜くことができる生徒の育成を見据えて相互に見通しの良い関係づくりを目指してまいりたいと考えております。今後より一層のご協力とお力添えをお願い申し上げます。

## 令和4年度 教護会役員

|      |                |
|------|----------------|
| 常任顧問 | 佐藤 有二 (校長)     |
| 会長   | 皆川 正春 (3-4 奈那) |
| 副会長  | 沼澤 克幸 (2-4 佑季) |
| 副会長  | 大石 重雄 (1-5 ゆな) |
| 副会長  | 竹田 晴誉 (教頭)     |
| 監事   | 本間 浩 (3-3 経一郎) |
| 監事   | 安藤 隆則 (職員)     |

### [学年関係]

|      |                            |
|------|----------------------------|
| 3 学年 | 皆川 正春 (3-4 奈那) 学年会長・教護会会長  |
|      | 佐竹 晶枝 (3-1 慶次朗) 学年副会長      |
|      | 遠藤 政喜 (3-5 悠貴) 学年副会長       |
| 2 学年 | 沼澤 克幸 (2-4 佑季) 学年会長・教護会副会長 |
|      | 角屋奈緒美 (2-5 真奈美) 学年副会長      |
|      | 伊藤 博昭 (2-2 藍樹) 学年副会長       |
| 1 学年 | 大石 重雄 (1-5 ゆな) 学年会長・教護会副会長 |
|      | 平瀬 朗子 (1-2 冬士也) 学年副会長      |
|      | 土屋 研二 (1-4 匠生) 学年副会長       |

### [専門委員長]

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 生活委員長 | 安部 憲幸 (3-5 宥人)  |
| 広報委員長 | 戸田 真也 (3-5 あかり) |

### [職員]

|              |                |
|--------------|----------------|
| 岩澤 信治 (事務部長) | 山口 憲司 (進路部長)   |
| 會田 浩昭 (総務部長) | 佐藤 忠博 (1 学年主任) |
| 安日 寛昭 (教務部長) | 新田 修 (2 学年主任)  |
| 安藤 隆則 (生徒部長) | 押野 由夏 (3 学年主任) |

## 第71回全国高P連石川大会を視聴して

総務部長 會田 浩昭

コロナ第7波に伴い参加をリモートに切り替えました。加賀百万石に相応しく華々しいオープニングの後、高校生の活動成果発表を皮切りに、第1から第4分科会に分かれて活発な意見交換が行われました。

第1分科会では「新時代の家庭教育」今、伸ばすべき本当に必要な力をテーマに2つの講演が開催されました。第2分科会では「新時代の学校教育」をテーマに基調講演2部とパネルディスカッションが行われました。第3分科会では「新時代のキャリアデザイン」をテーマに未来の働き方、生き方をディスカッションしました。第4分科会においては「新時代の進路選択」をテーマとして2名の基調講演が行われました。正解のない時代における未来選択の基調講演が2部構成で行われ、未来を見据えた進路思考について視聴させていただきました。小宮山先生の講演は「シンギュラリティー」であるAIに関する内容です。AIによって変革する職業に対する正確な知識を持つことが、保護者に必要と認識できました。もう一つの赤土先生の「これからの社会を生き抜くために子供たちのために保護者に求められること」をテーマとした講演を拝聴しました。学びの変革や学ぶために必要な探究心の育成など、子供が展開していく学びの環境が大きく変化しています。自らの探究が自らを育て、自己解析能力を育み、将来の形を作り上げていくこと、そして保護者の助言により大きく左右されることを学びました。

2日目には記念講演として(株)ファミリーマート顧問の澤田貴司氏による「やりたいこと」をテーマとした内容で大変貴重な経験談から現在に至る経営や改革の話を聞くことができました。「決めたことは、成し遂げるまで責任をもってやり遂げる」ことを、上杉鷹山の「為せば成る」に重ね再学習できました。大変有意義な大会に参加でき感謝いたします。次年度は宮城県開催です。



特集  
記事

# 令和4年度 体育祭

競技種目と結果

競技の様子

| 種 目      | 第1位           | 第2位 | 第3位     |
|----------|---------------|-----|---------|
| バレーボール   | 3-4           | 3-3 | 3-1、3-2 |
| 卓 球      | 2-3           | 3-1 | 2-5、3-4 |
| ソフトボール   | 3-1           | 3-5 | 2-4、3-4 |
| サッカー     | 3-5           | 2-2 | 1-4、3-4 |
| バスケットボール | 3-2           | 2-5 | 2-3、3-5 |
| 総合成績     | 3-1、3-4（同点1位） |     | 3-5     |



1-1



1-2



1-3



1-4



1-5



2-1



2-3



2-5



2-4



3-1



3-2



3-3



3-4



3-5

## 編集後記

今年度当初の合同委員会は、感染拡大防止のため中止となりましたが、8月の「教護会だより」編集会議は予定どおり開催され、委員の皆さんと数多くの写真から割付案等を確認させていただきました。  
限られた時間での活動ではありましたが、教護会だより103号を発行することができ、生徒たちの日々成長していく姿を掲載できたのではないかと思います。

広報委員長 戸田 真也

